
平成26年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成26年3月7日

質問者（質問順）

- 1 藤崎 浩太郎 委員（結ぶ会）
- 2 岩崎 ひろし 委員（共産党）
- 3 高橋 徳美 委員（自民党）
- 4 渋谷 健 委員（自民党）
- 5 福島 直子 委員（公明党）
- 6 麓 理恵 委員（民主党）
- 7 横山 勇太郎 委員（みんな）

港 湾 局

局 別 審 査

1 藤 崎 浩太郎 委員（結ぶ会）

1 コンテナ貨物の集荷策について

- (1) 「推進委員会」の設立の目的と経緯について伺いたい。
- (2) 最終とりまとめにおける国際コンテナ戦略港湾政策の目標と施策について伺いたい。
- (3) 示された目標に対して、本市としてどのように関わっていくのか。
- (4) 最終とりまとめに盛り込まれた「集貨」施策について伺いたい。
- (5) 平成26年度予算案における集荷策の特徴は何か。
- (6) 航路新設・強化補助を新設する考え方について伺いたい。
- (要望) 海運や経済の動向を踏まえて、効果的な集荷施策に取り組んでいただきたい。
- (7) 平成25年度の海外ポートセールスの実績と実施内容を伺いたい。
- (8) 海外ポートセールスにおける民間企業の活用について伺いたい。
- (9) 海外ポートセールスによりどのような成果があがっているか。
- (要望) 継続中の案件についても、しっかりと横浜港埠頭株式会社と連携し、貨物の獲得に向けて取り組んでいただきたい。
- (10) 平成26年度以降の海外ポートセールスの方向性を伺いたい。
- (要望) 横浜港がしっかりと選ばれていくように、継続的な営業に取り組んでいただきたい。

2 山下ふ頭土地利用検討調査について

- (1) 山下ふ頭再開発に取り組むねらいは何か。
- (2) 山下ふ頭再開発の事業化に向けた課題は何か。
- (要望) 職員と現場の利用者との間で信頼関係をしっかりと築いていただきたい。
- (3) 現在の物流機能をどうしていくのか。
- (要望) 具体化に向けて課題も多くあるので、しっかりと調整していただきたい。

(4) マスタープラン作成にあたっては、市民参加型によるワークショップなど、市民との対話を何度も重ねながら意見を取り入れ作成していくのが、これからのあり方だと考えるが、局長の見解を伺いたい。

(要望) 積極的に市民の声が反映されるように取り組んでいただきたい。

3 新港地区の賑わいづくりについて

(1) 赤レンガ倉庫の来場者数と周辺も含めたイベントの開催状況について伺いたい。

(2) 水上交通と陸上の交通を連携させて回遊性を高め、新港地区の魅力を高める施策が必要ではないかと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 新港地区の賑わいづくりの方向性について伺いたい。

(4) 新港地区の賑わいづくりは周辺地区も含めて、全市一丸、県市一丸となって取り組む必要があるが、本市の取り組みの考え方を副市長に伺いたい。

1 港湾計画の改訂について

(1) 貨物量の目標を右肩上がりになっている理由は何か。

(2) 改訂案に港湾機能の増強とあるが、今の横浜港には何が足りないのか。

(3) 港湾機能の不足が原因で、船の寄港にあたって不都合は生じているのか。

(意見) 現在の港湾機能を充実・強化すれば、十分足りる。

(4) 港湾法は、港湾地区の土地利用にどのような制限をかけているのか。

(意見) 集客施設の導入は港湾法の法の精神に反する。

(5) 山下ふ頭の面積はどれだけあるか。

(意見) 港湾機能の増強が必要だとしているのに、山下ふ頭の港湾機能を賑わい施設にするのは本末転倒である。

(6) 港湾計画の改訂について事業費見込みを出さないのはなぜか副市長に伺いたい。

(7) 10年で事業をやろうとしているのだから、事業費見込みと市の財政状況と見比べる必要がある。このことについて、副市長はどう考えているか伺いたい。

(意見) 港湾計画の改訂は横浜港の特性・実態に沿うべき。本市の財政状況を考慮しない計画は無責任である。山下ふ頭を港湾機能とは別の目的で使い、そのために新たなふ頭やターミナルを整備することは、無駄使いである。

3 高橋徳美委員（自民党）

1 平成26年度港湾局予算編成の概要について

予算案における局長の所感を伺いたい。

2 貨物の取扱状況と集荷策について

(1) 平成25年の横浜港取扱貨物量の状況について伺いたい。

(2) 輸出上位品種の貨物量と直近10年間の動向について伺いたい。

(3) 完成自動車の輸出上位国の取扱量と今後の見通しについて伺いたい。

(要望) 完成自動車の輸出は、横浜港にとって大変重要であり、動向を注視し、適切に対応を図っていただきたい。

(4) 平成25年のコンテナ取扱個数の状況について伺いたい。

(5) 横浜港のコンテナ取扱状況をどのように捉えているのか伺いたい。

(6) アジア貨物の集荷に向けた横浜港の取り組みとその効果について伺いたい。

(要望) アジア諸国の成長を取り込むため、効果的に横浜港の利用促進に努めていただきたい。

3 新規ふ頭計画について

(1) 新たにふ頭を整備する理由は何か。

(2) 新規ふ頭に位置付ける施設の内容について伺いたい。

(3) 新規ふ頭が環境に与える影響を今後どのように検証していくのか。

(4) 新規ふ頭整備の事業をどのように進めていくのか。

(要望) 様々な課題があるが、しっかりと調査していただきたい。

4 横浜港の津波・高潮対策について

(1) 横浜港の埋立の基準高さとして現在想定している防護レベルの津波と高潮の高さについて伺いたい。

(2) 津波・高潮対策の検討状況について伺いたい。

(3) 施設整備を検討するにあたっての課題は何か。

(要望) 津波・高潮対策については、十分な検討や調整を行った上で、必要となる整備を進めていただきたい。

(4) 海岸保全基本計画の策定スケジュールについて伺いたい。

(要望) 管理者や関係機関と十分に調整をしながら着実に推進していただきたい。

5 臨海部の水域の利用促進について

(1) これまで臨海部の水域が市民にどのように利用されてきたのか伺いたい。

(2) 水上交通に関する今後の取り組みについて伺いたい。

(3) 臨海部の水域の利用促進に向けて、どのように取り組むのか副市長に伺いたい。

(意見) 水域利用が進み、市民にとってより魅力的な水辺空間となること期待している。

1 強制水先規制の緩和について

- (1) 横浜港の強制水先規制の問題点について伺いたい。
- (2) 国が設置した検討会の目的、スケジュールについて伺いたい。
- (3) 検討会において横浜市がどのようなことを主張したのか伺いたい。
- (4) 安全性の検証は具体的にどのようにするのか伺いたい。
- (5) 検討会に臨む決意について伺いたい。

2 山下ふ頭の再開発について

- (1) 集客施設を導入することは、港湾法の法の精神に反するという意見があったが、反するのか。
- (2) 現行法上でも、山下ふ頭に集客施設を作ることは、手続きを踏めばできるということでしょうか。
- (3) 山下ふ頭の再編については、積極的に取り組んでもらいたいと考えているが、副市長に考えを伺いたい。
- (要望) 積極的に有効に活用するよう検討していただきたい。

3 国際コンテナ戦略港湾政策について

- (1) 横浜港のコンテナ貨物取扱量は世界で何番目で、どれくらいか。
- (2) 横浜港の当面のライバル港はどこか。
- (3) 釜山港に局長は行ったことがあるか、いつ行ったか。
- (4) 港湾局で釜山港に行ったことがある職員はどれくらいいるのか。
- (5) 釜山港の印象について伺いたい。
- (6) 日本中でコンテナ貨物を取り扱える港の数はどれくらいか。
- (7) 釜山港の倉庫料金や物流・荷役コスト等は安いのか。
- (8) 釜山港の倉庫の使用料水準は横浜港とだいぶ差があるのか。
- (9) 大型船への対応として、釜山港との大水深バースの数の差について、どう考えているのか。

- (要望) 港の整備についてももしっかり取り組んでいただきたい。
- (10) 横浜港のコンテナターミナルは24時間オープンしていないのか。
- (11) ターミナル事業者に依頼すれば24時間オープンするのか。
- (12) 横浜港の欧州・北米航路の寄港状況について伺いたい。
- (13) 横浜港が国際ハブ港でなくなった時、市民にどのような影響があるのか。
- (14) 港湾整備・管理運営に関して横浜と国の役割分担について、どう考えているのか伺いたい。
- (15) 港湾運営会社の国出資のメリット・デメリットは何か。
- (16) 国出資に対して本市はどのような判断をしているのか。
- (17) 東京港と横浜港の貨物量の差についてどう認識しているか。
- (18) 港湾局職員のビジネス感覚を磨くための取り組みについて伺いたい。
- (19) 横浜港は釜山港に勝てるか。
- (20) 世界の港との競争を勝ち抜くための心意気を伺いたい。

1 山下ふ頭の再開発について

- (1) 平成25年度の検討内容について伺いたい。
 - (2) 民間事業者に対するヒアリングはどのような業種の方にしたのか、意見はどのようなものだったのか。
 - (3) マスタープランを具体的にどのように作っていくのか伺いたい。
 - (4) マスタープラン策定後の事業化に向けた調査の取り組みについて伺いたい。
- (要望) 隣接地区へよき波及効果を生み出すようなマスタープランになるよう精力的に進め、十分な検討をしていただきたい。

2 超大型客船の受入について

- (1) 横浜港における最近の客船寄港の傾向について伺いたい。
 - (2) 横浜港の客船誘致強化策について伺いたい。
 - (3) 本牧ふ頭A突堤における客船受入に向けた検討をどのように進めていくのか。
- (要望) 本牧ふ頭A突堤に超大型客船の停泊が可能となった場合、遠来のお客様が降り立つことになるので、周辺環境整備も行っていただきたい。

3 横浜港の船舶航行の安全性確保について

- (1) ポートラジオの概要について伺いたい。
 - (2) ポートラジオの他港の状況について伺いたい。
 - (3) ポートラジオの役割と海上保安部との連携について伺いたい。
 - (4) 大規模災害発生時の対応について伺いたい。
- (要望) 災害時の連携強化の仕組みについて、関係者間で確認・協議いただき、防災力・減災力強化を図っていただきたい。

4 震災等に備える道路等の安全確保について

(1) 緊急輸送路の路面下空洞調査

ア 平成25年度に実施した緊急輸送路の路面下空洞調査の取り組み状況につ

いて伺いたい。

イ 今後の緊急輸送路の路面下空洞調査についてはどのように取り組むのか。

(2) 緊急輸送路の液状化によるマンホールの浮上り対策について伺いたい。

(要望) マンホールの浮上り対策について、着実に進めていただきたい。

(3) 港湾局が管理する特定建築物の耐震化の状況と今後の取り組みについて伺いたい。

(要望) 計画的にかつできる限り早く耐震化を完了していただきたい。

(4) 今回の大雪で分かった大雪時の課題と対応について伺いたい。

(要望) 物流に大きな影響が出るので、スムーズな対応ができるよう準備していただきたい。

5 横浜港内の温暖化対策の推進について

(1) 横浜港におけるこれまでの温暖化対策について伺いたい。

(2) ふ頭上屋への太陽光パネル設置の取り組み内容と効果について伺いたい。

(3) 港務艇への太陽光パネル設置の取り組み内容と効果について伺いたい。

(4) 横浜港の温暖化対策を進める上での考えについて副市長に伺いたい。

(要望) 温暖化対策や、防災・減災の取り組みが着実に形になり市民にも伝わるよう、取り組んでいただきたい。

1 みなとみらい21地区の土地処分状況について

- (1) 港湾局が処分した土地の中で、最近オープンした施設や今後オープンする予定の施設について伺いたい。
- (2) 平成26年度に公募する土地の売却に向けた取り組みについて伺いたい。
- (3) 埋立事業会計3次プランの目標達成状況について伺いたい。
- (要望) 土地売却は臨海部の開発にとって追い風となるので、さらなる賑わいにつなげていただきたい。また埋立事業会計の改善のために、本市の中期計画と合わせて次期財政プランの策定が必要である。3次プランの結果を見極めて策定を検討していただきたい。

2 大さん橋を中心とした賑わい創出について

- (1) 大さん橋国際客船ターミナルの来場者数の状況について伺いたい。
- (2) 大さん橋ホールの利用状況について伺いたい。
- (3) 指定管理者による賑わい創出の取り組みについて伺いたい。
- (4) 港周辺の施設や民間事業者等の連携による賑わい創出の取り組みについて伺いたい。
- (要望) 今後も指定管理者や民間事業者と協力しながら、賑わい創出のための取り組みを進めていただきたい。

3 横浜港の国際交流について

- (1) 姉妹港・友好港等との交流
 - ア 提携している港とその交流内容について伺いたい。
 - イ その他の国際協力としてどのようなことをしているのか、また実績はどうか。
 - ウ 今後の国際交流の考え方について伺いたい。
- (2) アジア諸港とのパートナーシップの構築
 - ア どのような港とパートナーシップを結ぶのか伺いたい。

イ パートナーシップの構築を検討している港はあるのか。

ウ タイとのパートナーシップの内容について伺いたい。

(意見) 文化や商取引の習慣の違いを乗り越え、活発に情報交換を行い、実り多い関係となることを期待している。

(3) 日中韓物流フォーラム

ア 日中韓物流フォーラムの概要について伺いたい。

イ 開催実績とねらいについて伺いたい。

(要望) 横浜港のポートセールスや国際都市横浜としての魅力をアピールする絶好のチャンスなので、しっかりと準備を進めていただきたい。

4 港湾の保安対策について

(1) 保安対策の現状について、対応した案件があればそれも含めて伺いたい。

(2) 保安対策強化の内容と国の動きについて伺いたい。

(3) 保安対策の強化への取り組みについて伺いたい。

(要望) 出入管理情報システムについては、保安措置向上の観点と立ち入る方への利便性等を検証してから導入していただきたい。

(4) 保安設備の老朽化対策とその課題について伺いたい。

(5) 国に対する要望について伺いたい。

(要望) 国からの支援を働きかけて、安全・安心な港づくりと物流の円滑化を両立できるように保安対策を進めていただきたい。

7 横山 勇太郎 委員（みんな）

1 寄附受納物の維持管理について

- (1) アニヴェルセル株式会社から受けた寄附の概要について伺いたい。
- (2) 寄附受納までの経緯や手続きについて伺いたい。
- (3) 近年港湾局が受けた寄附について伺いたい。申請があつて断ったものがあればそれについても伺いたい。
- (4) 寄附者との施設管理の役割分担について伺いたい。
- (5) インターロッキングブロックの今後の補修について伺いたい。